



# 平成18年5月期決算説明会

大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成18年8月8日 大阪  
平成18年8月9日 東京



- ・平成18年5月期実績
- ・平成19年5月期見通し
- ・今後の展望



# . 平成18年5月期実績



# 1. 概要

単位：百万円(百万円未満切捨)、%、円

	05/5	06/5	前年同期比		06/5 期初計画	06/5期初 計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
売上高	17,517	18,629	1,112	6.3	17,000	1,629	9.6
営業利益	1,658	1,567	91	5.5	1,500	67	4.5
経常利益	1,651	1,589	62	3.8	1,500	89	5.9
当期純利益	915	927	12	1.3	900	27	3.0
一株当り利益	47.6	51.1		46.8			
一株当り配当金	25.0	25.0		25.0			
総資産	20,101	20,199					
株主資本	13,042	13,161					

## ポイント

上期における生産工程の一時的乱れと減価償却の増加により、  
 期初計画は上回ったものの、増収・営業減益となった。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産 単位：百万円、%

	05/05	06/05	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	7,317	8,011	694	9.5
バタフライ弁	5,189	5,339	150	2.9
遠隔操作装置	5,039	5,254	215	4.3
生産高合計	17,545	18,604	1,059	6.0

受注高

	05/05	06/05	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	8,803	8,007	796	9.0
バタフライ弁	6,801	5,936	865	12.7
遠隔操作装置	6,054	5,781	273	4.5
受注高合計	21,658	19,725	1,933	8.9

受注残

	05/05	06/05	前年同期比	
			増減	伸率
自動調節弁	4,937	4,968	31	0.6
バタフライ弁	4,555	5,180	625	13.7
遠隔操作装置	5,199	5,762	563	10.8
受注残合計	14,690	15,910	1,220	8.3

### 生産(前年同期比6.0%増)

ガスタービン向けと電力向け増加を主因に自動調節弁が大幅増加

### 受注高(同8.9%減)

資材高騰を見越した早期発注が集中した前年からは一巡

### 受注残(同8.3%増)

生産を上回る高水準の受注を獲得し受注残高が増加

### 3. 部門別売上高

単位: 百万円、%

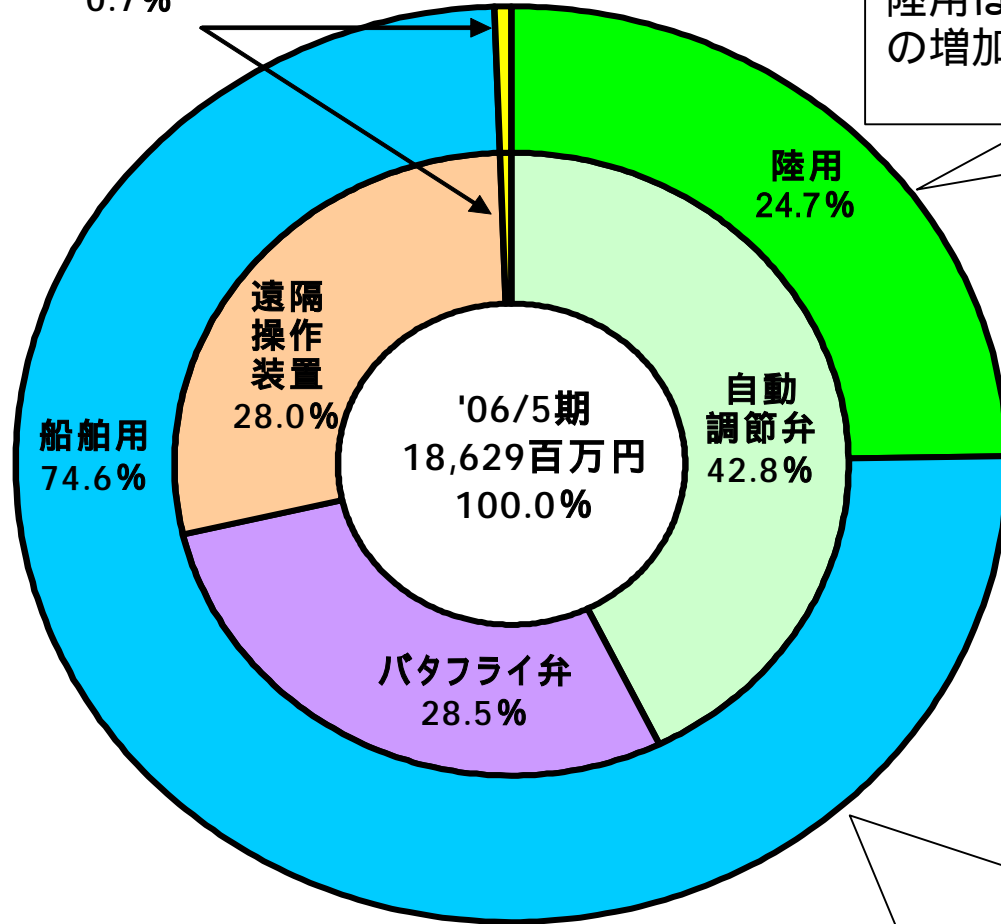
	05/5	06/5			
			増減	伸率	構成比
自動調節弁	7,253	7,976	723	10.0	42.8
バタフライ弁	5,149	5,311	162	3.1	28.5
遠隔操作装置	4,992	5,218	226	4.5	28.0
不動産賃貸収入	124	124	0	0.0	0.7
売上高・営業収益	17,518	18,629	1,111	6.3	100.0

単位: 百万円、%

	05/05	構成比				
			06/05	増減	伸率	構成比
陸用	3,808	21.7	4,609	801	21.0	24.7
船用	13,586	77.6	13,896	310	2.3	74.6
その他	124	0.7	124	0	0.0	0.7
合計	17,518	100.0	18,629	1,111	6.3	100.0

# 3.部門別売上高

不動産賃貸収入  
0.7%



陸用はガスタービン向け自動調節弁と電力向けの増加により前年比21.0%増、構成比3ポイントアップ

自動調節弁はガスタービン向けと電力向けが増加  
バタフライ弁は韓国向けの減少を内航タンカーその他国内向けでカバー  
遠隔操作装置も韓国向けの減少を内航船タンカーその他国内向けでカバー

船用は韓国のタンカー向けの減少による影響もあり2.3%の微増、構成比3ポイントダウン

## 4. 地域別売上高

単位: 百万円, %

	05/5	06/5	増減	伸率	構成比
国内	14,826	16,081	1,255	8.5	86.3
韓国	1,489	1,285	204	13.7	6.9
中国(香港)	1,089	1,168	79	7.2	6.3
その他	114	95	20	17.1	0.5
合計	17,518	18,629	1,111	6.3	100.0
輸出比率	15.4	13.7			

韓国のタンカー建造減少の影響で韓国向けが減少  
ドル建ては約12億円で為替影響は小さい



# 5. 損益計算書

単位: 百万円, %

	05/5	構成比	06/5	増減	伸率	構成比
売上高	17,518	100.0	18,629	1,111	6.3	100.0
売上原価	14,358	82.0	15,434	1,076	7.5	82.8
売上総利益	3,160	18.0	3,195	35	1.1	17.2
販売費・一般管理費	1,502	8.6	1,627	125	8.3	8.7
営業利益	1,658	9.5	1,568	90	5.4	8.4
営業外損益	7	0.0	21	28	-	0.1
経常利益	1,651	9.4	1,589	62	3.7	8.5
特別損益	80	0.5	0	80	-	0.0
税引前当期純利益	1,572	9.0	1,589	17	1.1	8.5
法人税等	656	3.7	662	6	1.0	3.6
当期純利益	916	5.2	927	11	1.2	5.0

生産工程の一時的乱れと減価償却増加の影響で増収ながら営業減益  
販管費増の内42百万円は役員賞与の経費算入によるもの



単位: 百万円

	05/5	06/5	増減		主要増減要因
			増	減	
流動資産合計	15,474	15,293	181		
現金・預金	4,277	2,397	1,880		売上債権増 1217、棚卸資産の増 533
売上債権	7,300	8,517	1,217		売上増、輸出比率低下
棚卸資産	2,525	3,058	533		
その他	1,372	1,321	51		
固定資産合計	4,627	4,906	279		
有形固定資産	1,989	2,590	601		設備投資748、償却等 147
無形固定資産	11	10	1		
投資・その他の資産	2,627	2,307	320		繰延税金資産 209
資産合計	20,101	20,199	98		
流動負債合計	5,672	5,792	120		
支払手形・買掛金	3,092	3,018	74		(注)仕入割引 1033、仕入増加 + 設備投資 959
短期借入金	1,770	1,770	0		
その他	810	1,004	194		
固定負債合計	1,387	1,056	331		退職給付引当金 177、役員退職引当金 154
負債合計	7,059	6,847	212		
資本合計	13,042	13,352	310		
負債・資産合計	20,101	20,199	98		

(注) 当社買掛金の一括支払信託受益権を自社買取



# . 平成19年5月期通期見通し



# 1. 概要

単位: 百万円(百万円未満切捨)、%、円

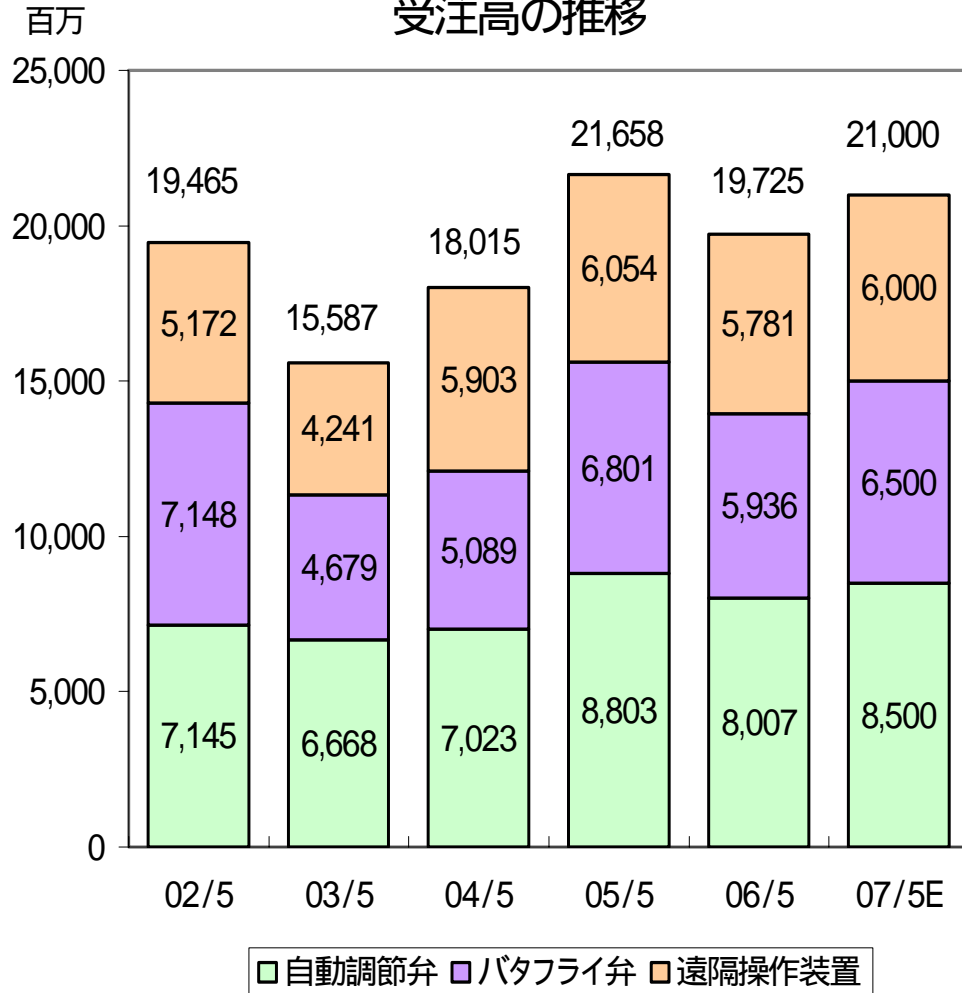
	06/5	構成比	07/5E	前年同期比		構成比	06/11 上	伸率	07/5 下	伸率
				増減	伸率					
売上高	18,629	100.0	19,000	371	2.0	100.0	9,350	4.6	9,650	0.4
営業利益	1,567	8.4	1,900	333	21.3	10.0	900	43.3	1,000	6.4
経常利益	1,589	8.5	1,900	311	19.6	10.0	900	36.2	1,000	7.8
当期純利益	927	5.0	1,100	173	18.7	5.8	520	35.1	580	7.0
一株当り利益	51.1			60.6			28.6		32.0	
一株当り配当金	25.0			25.0			12.5		12.5	
設備投資	748			565						
減価償却費	142			197						

生産工程の乱れは既に正常化

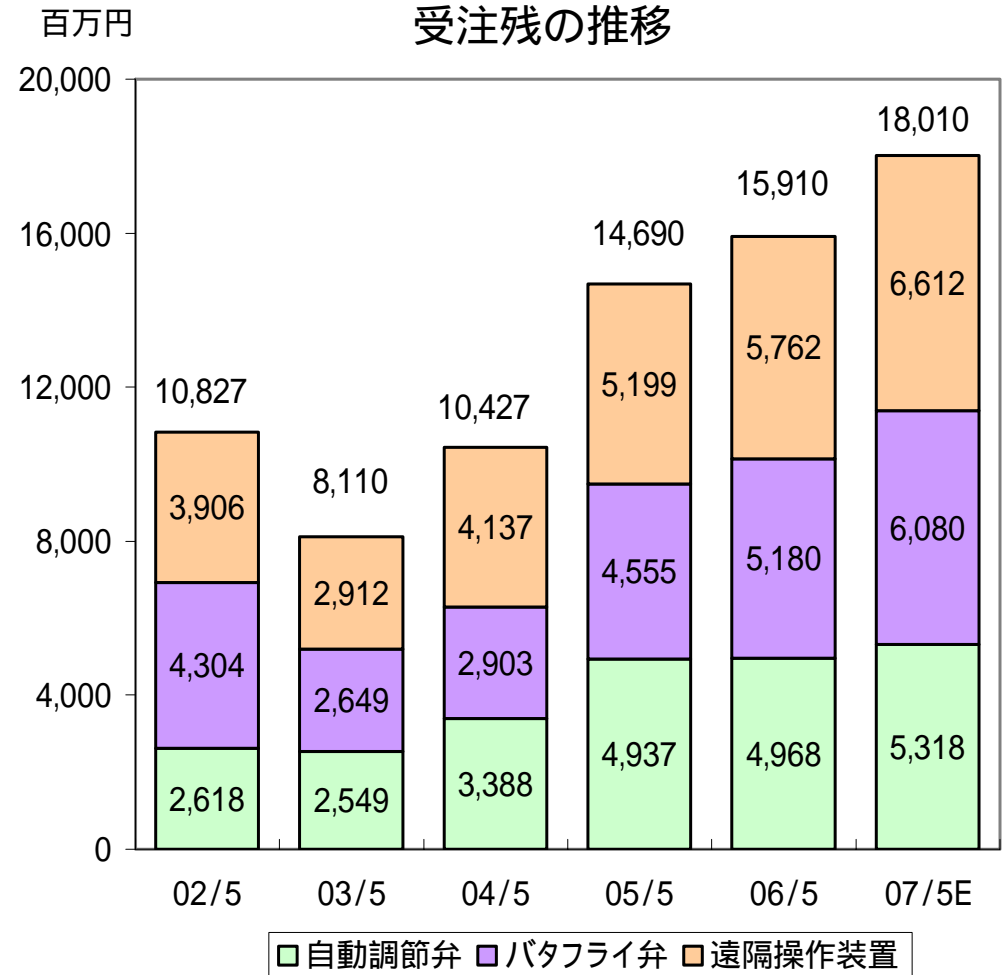
減価償却が55百万円、修繕費が11百万円増加の見込

# 2. 受注・受注残の見通し

### 受注高の推移



### 受注残の推移



**好調な造船需要を背景に210億円の受注を見込む**

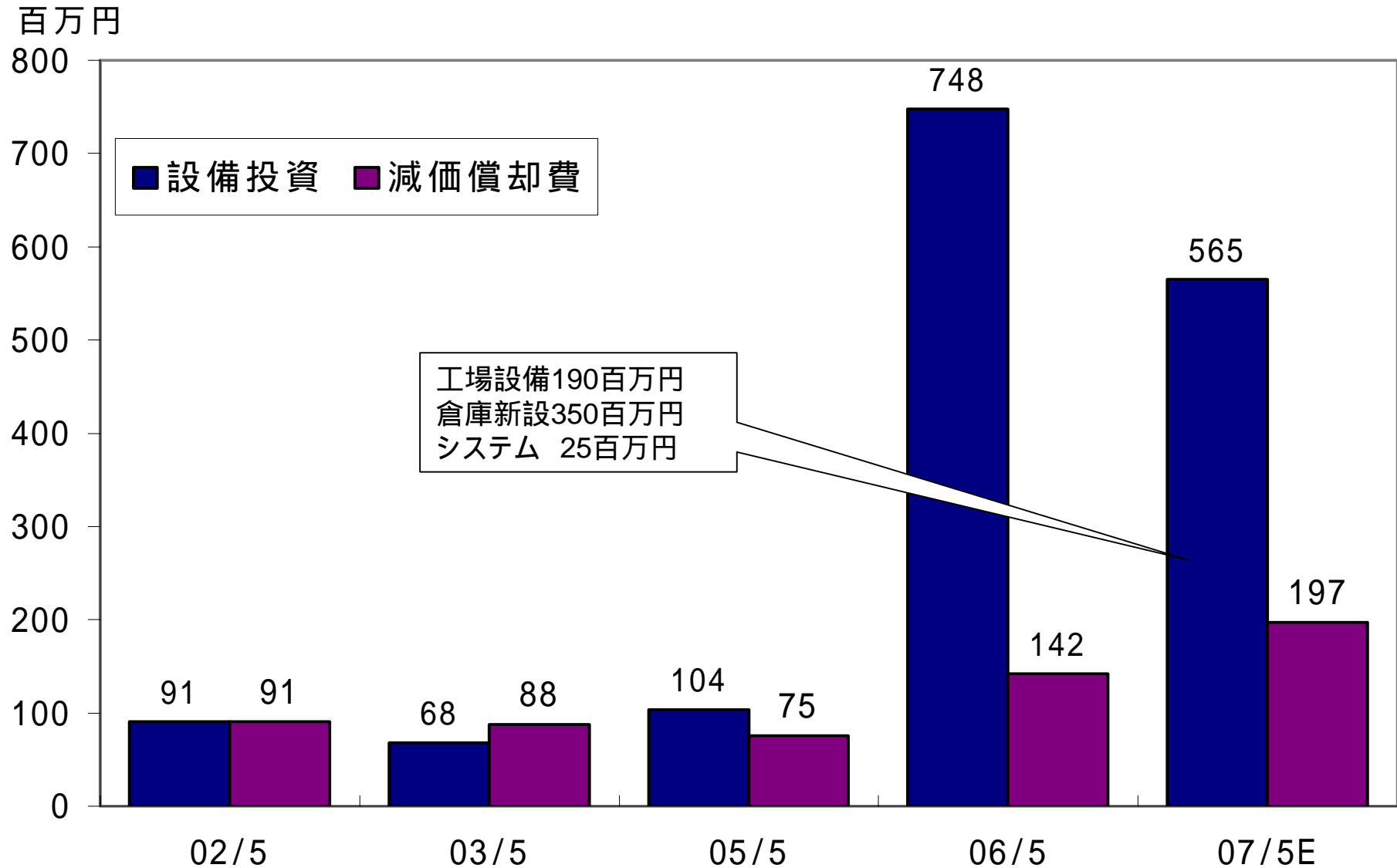


### 3. 損益計算書

単位:百万円, %

	06/5		07/5E			
	06/5	構成比	07/5E	増減	伸率	構成比
売上高	18,629	100.0	19,000	371	2.0	100.0
売上原価	15,434	82.8	15,440	6	0.0	81.3
売上総利益	3,195	17.2	3,560	365	11.4	18.7
販売費・一般管理費	1,627	8.7	1,660	33	2.0	8.7
営業利益	1,568	8.4	1,900	332	21.2	10.0
営業外損益	21	0.1	0	21	100.0	0.0
経常利益	1,589	8.5	1,900	311	19.5	10.0
特別損益	0	0.0	0	0	0.0	0.0
税引前当期純利益	1,589	8.5	1,900	311	19.5	10.0
法人税等	662	3.6	800	138	20.8	4.2
当期純利益	927	5.0	1,100	173	18.7	5.8

# 4. 設備投資と減価償却費の見通し





# . 今後の展望



# 1. '07/5期の経営課題と戦略

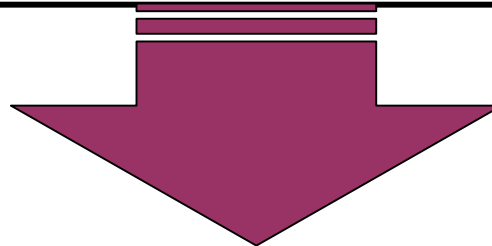
## 06/5期の振り返り

高水準な受注を獲得し6.3%増収するも3.7%経常減益

外部要因：原材料価格高騰

内部要因：上期の生産工程の乱れによる外注費・労務費増

下期以降生産効率化するも上期の収益悪化をカバーできず



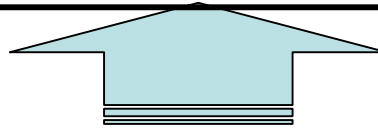
## 今 07/5期のテーマ

ルールに基づく「もの作り」

## 2. 課題への取り組み



中期的な受注伸長に合わせた生産効率化と  
信頼される高品質なもの作りを目指す！





## 3. 技術の標準化

1. 教育訓練の徹底 : 技能の伝承

2. 設計から製造にいたるまで工順をルール化

3. 工数見直しによる作業効率化

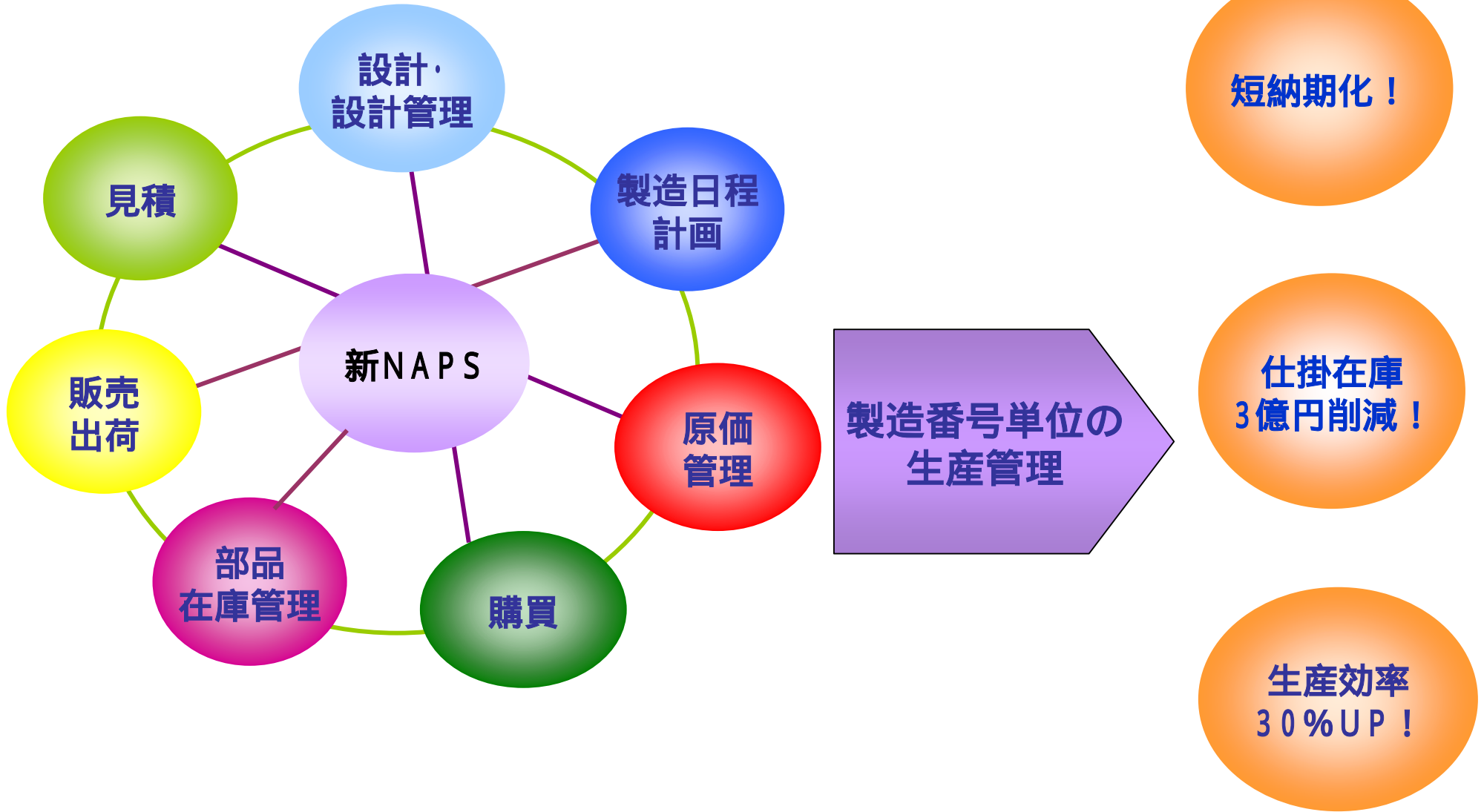


## 4. 生産管理新システム(新NAPS)の構築

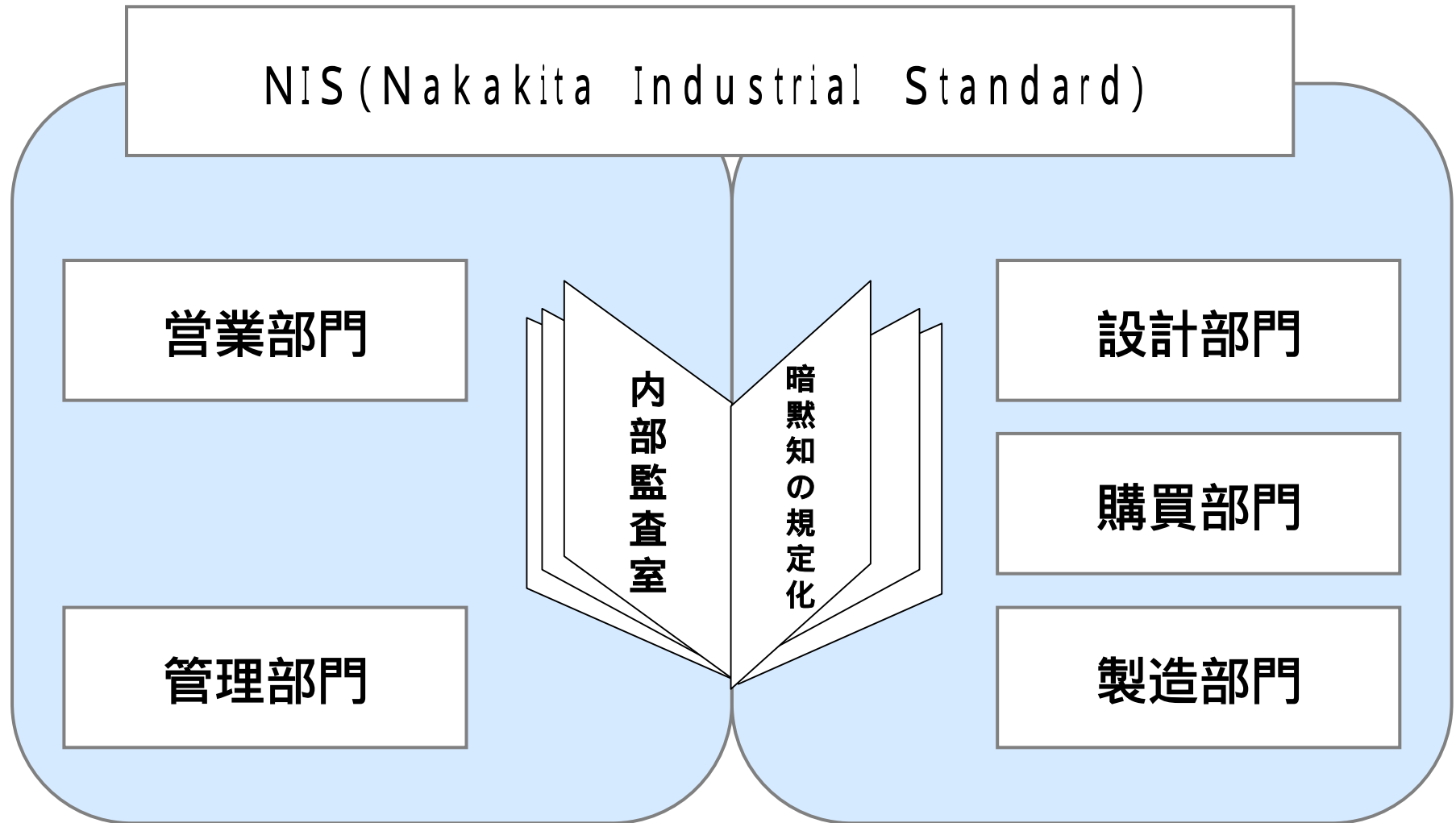
NAPS(85年導入)の見直しに着手

投資額は約2.2億円、07年12月より本格稼働予定

“見える生産管理システム”を再構築

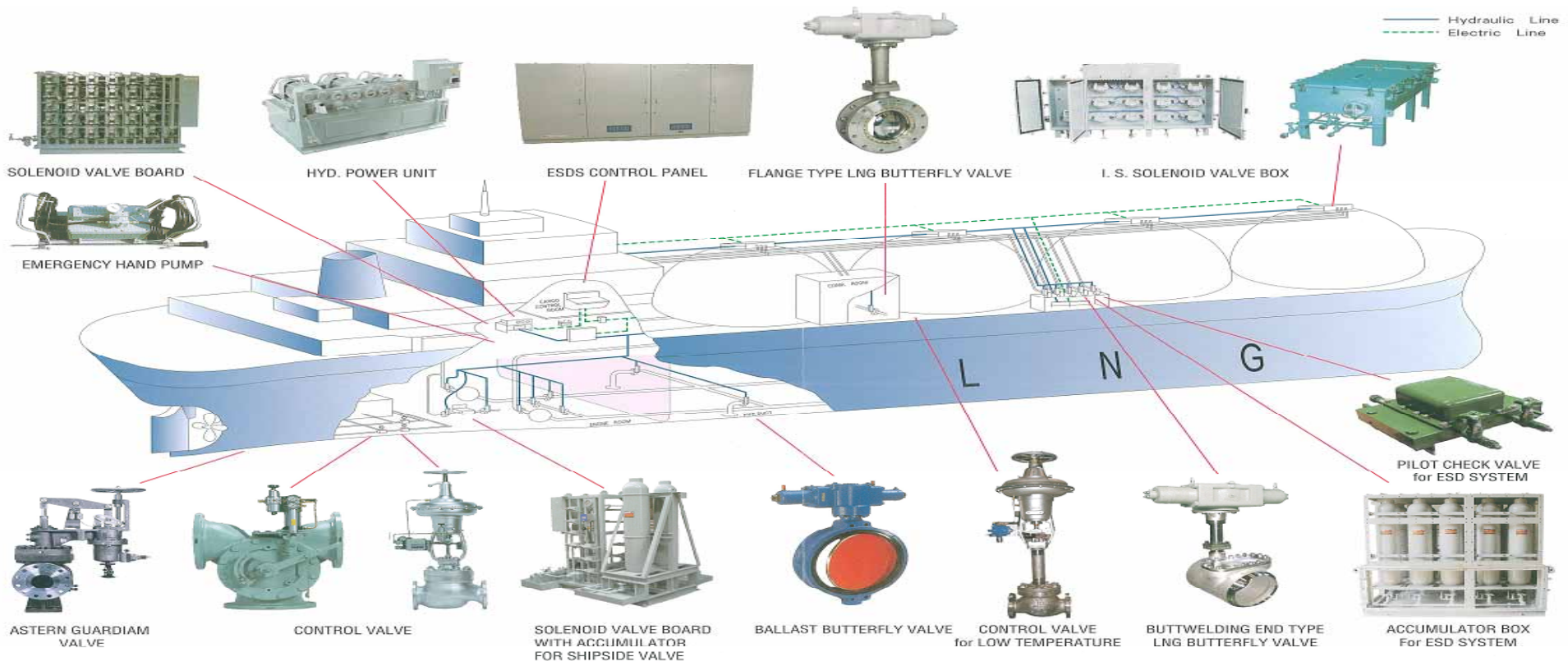


# 5. 内部統制の確立



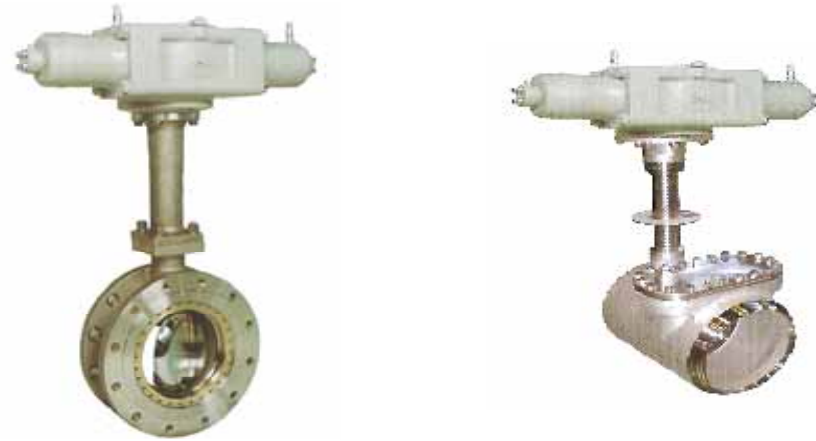
# 6. 船舶用バルブ

## LNG船納入製品



従来から好評であったバラストライン用バタフライ弁、コントロールバルブや緊急遮断システム(ESDS)に加え、LNG船用超低温バタフライ弁を製品ラインナップに加えることにより、より一層LNG船弁遠隔操作システムのトータルサポートを可能にした。

## LNG用超低温バタフライバルブ製造の進捗状況



4月にSEA JAPAN(舶用品展示会)にてPR

今夏テスト装置完成

現在2007年夏、2008年夏納期の引合い各1隻あり、これ  
に対し受注獲得に向け注力中

LNG船の大型化に伴い全品種売上は一隻当たり約3億円  
となる見込み



# LNG船用超低温バタフライ弁 作業状況 (1/2)



駆動部取付



弁座取付



弁体水平計測



シート取付ボルト締め付け

# LNG船用超低温バタフライ弁 作業状況 (2/2)



シート当り面確認



気密検査



シート取付ボルト締め付け確認



気密検査漏れ確認

# LNG船用バタフライ弁の 液体窒素 (-196 ) による超低温試験



超低温試験時のバタフライ弁



超低温試験後のバタフライ弁

## 7. ガスタービン用バルブ

ガスタービン用燃料制御弁の  
高応答アクチュエーターの販売に向けて

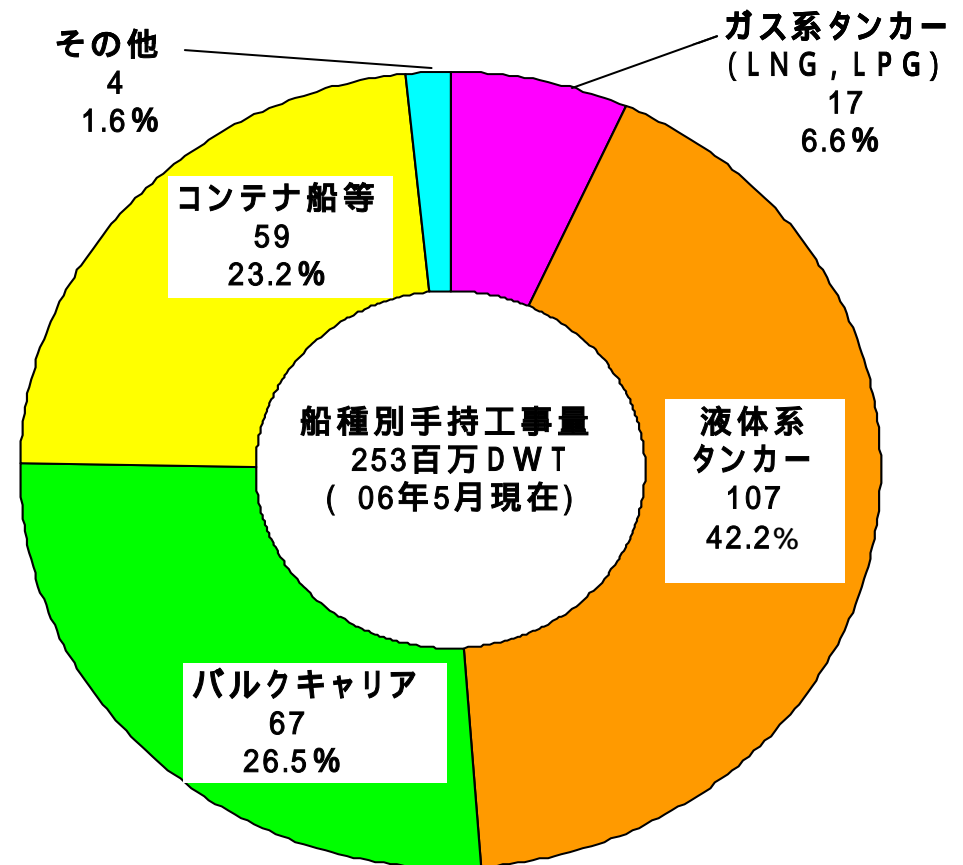
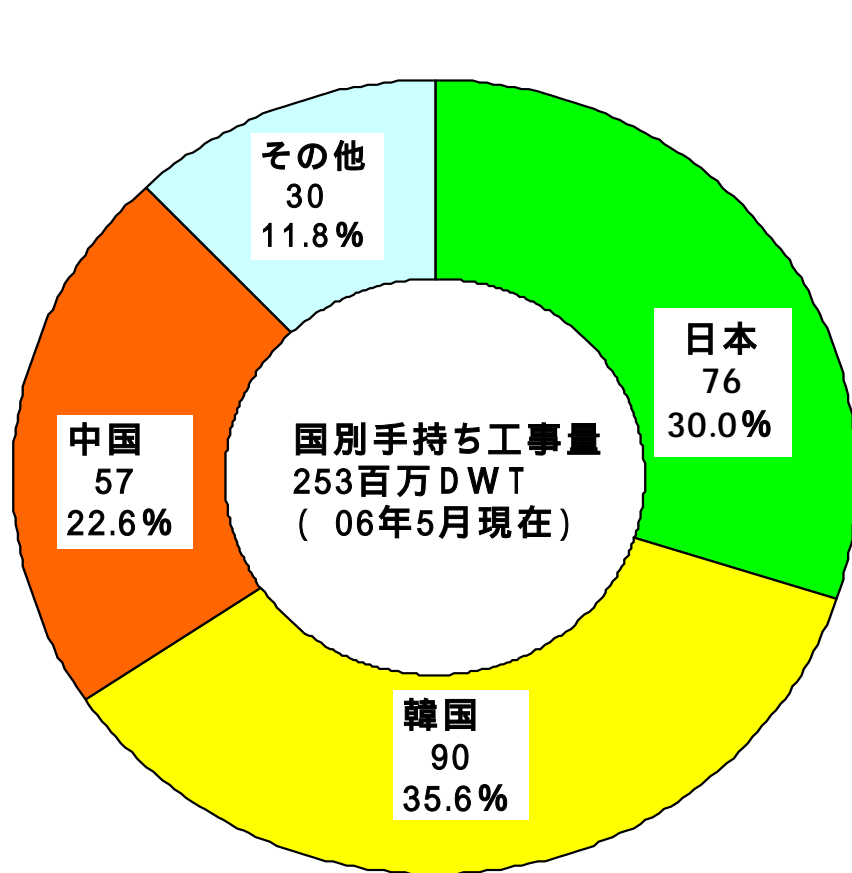
2007年春テスト開始  
2007年秋テスト終了、結果評価  
結果よければ2007年秋以降受注、  
2008年5月期下期より売上寄与の見込み



# ガスタービン用バルブ試験状況



# 8-1. 船用分野市場動向 ~ 国別・船種別手持工事量



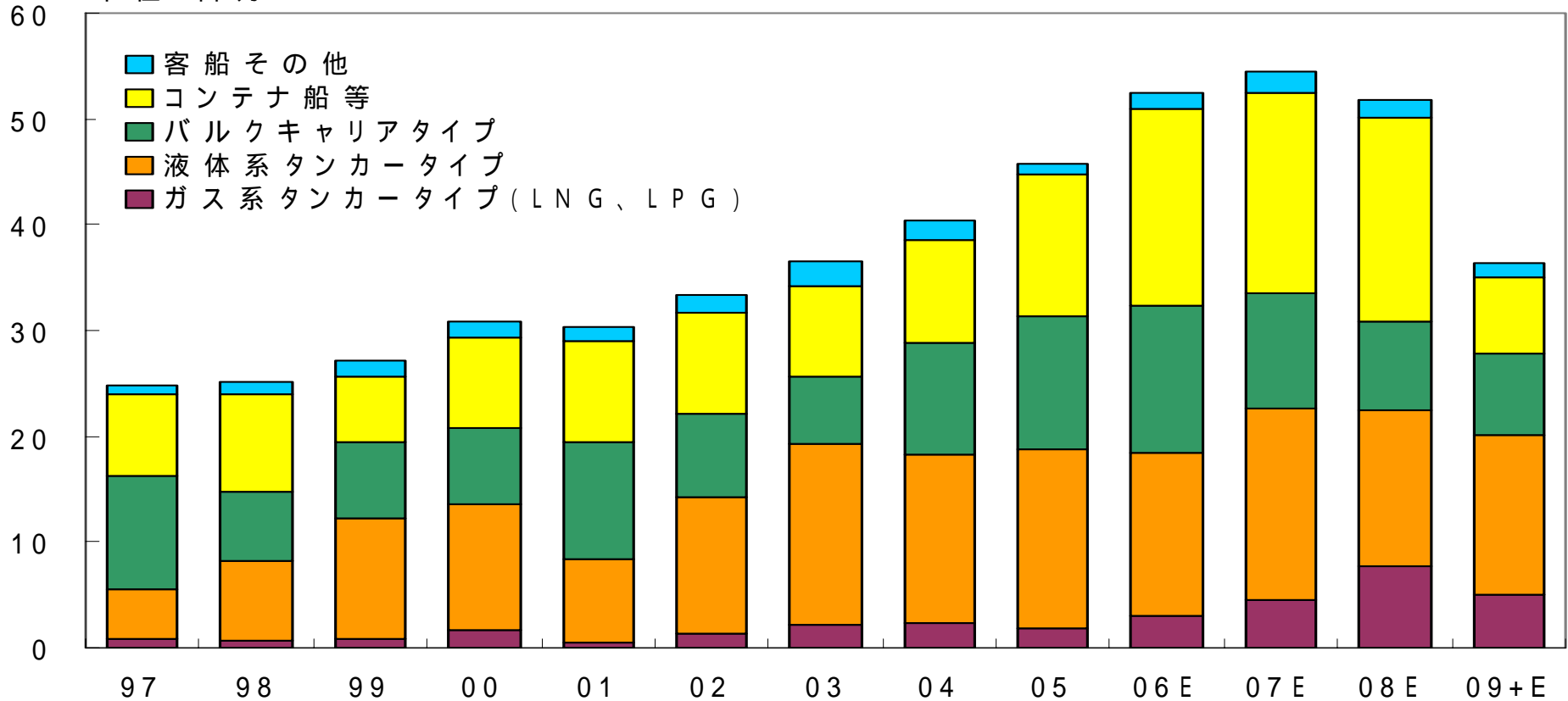
出所: CLARKSON RESEARCH SERVICES  
World Shipyard Monitor



# 8-2. 船用分野市場動向～納期別・船種別手持工事量(06年5月現在)

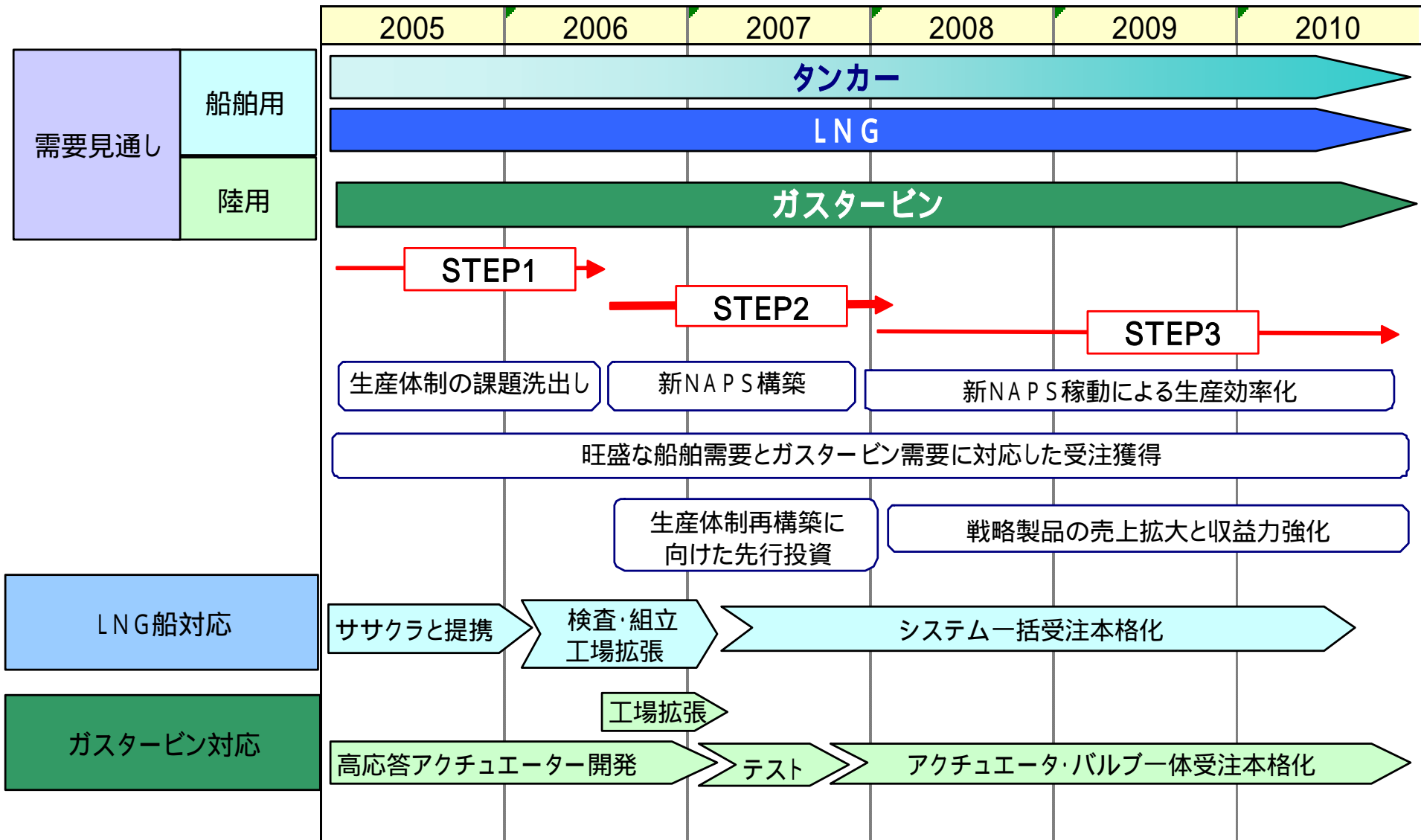
**新造船需要は今年に入りタンカーを中心に伸びており  
 2009年～2010年までLNG船と共に堅調が見込まれる**

単位：百万DWT



出所：clarkson research services World Shipyard Monitor

# 9. 今後の展開





# 10.まとめ

中期的に高水準の需要が見込まれる  
 戦略製品は'07年以降受注活動を本格化、08年以降売上げに  
 立つ見通し  
 新NAPS稼動と技術の標準化による生産効率化及び適切な  
 在庫・収益管理も寄与、先行投資負担吸収し収益拡大基調に！

